

定置網で漁獲されたマアジの

蓄養・養殖技術の開発

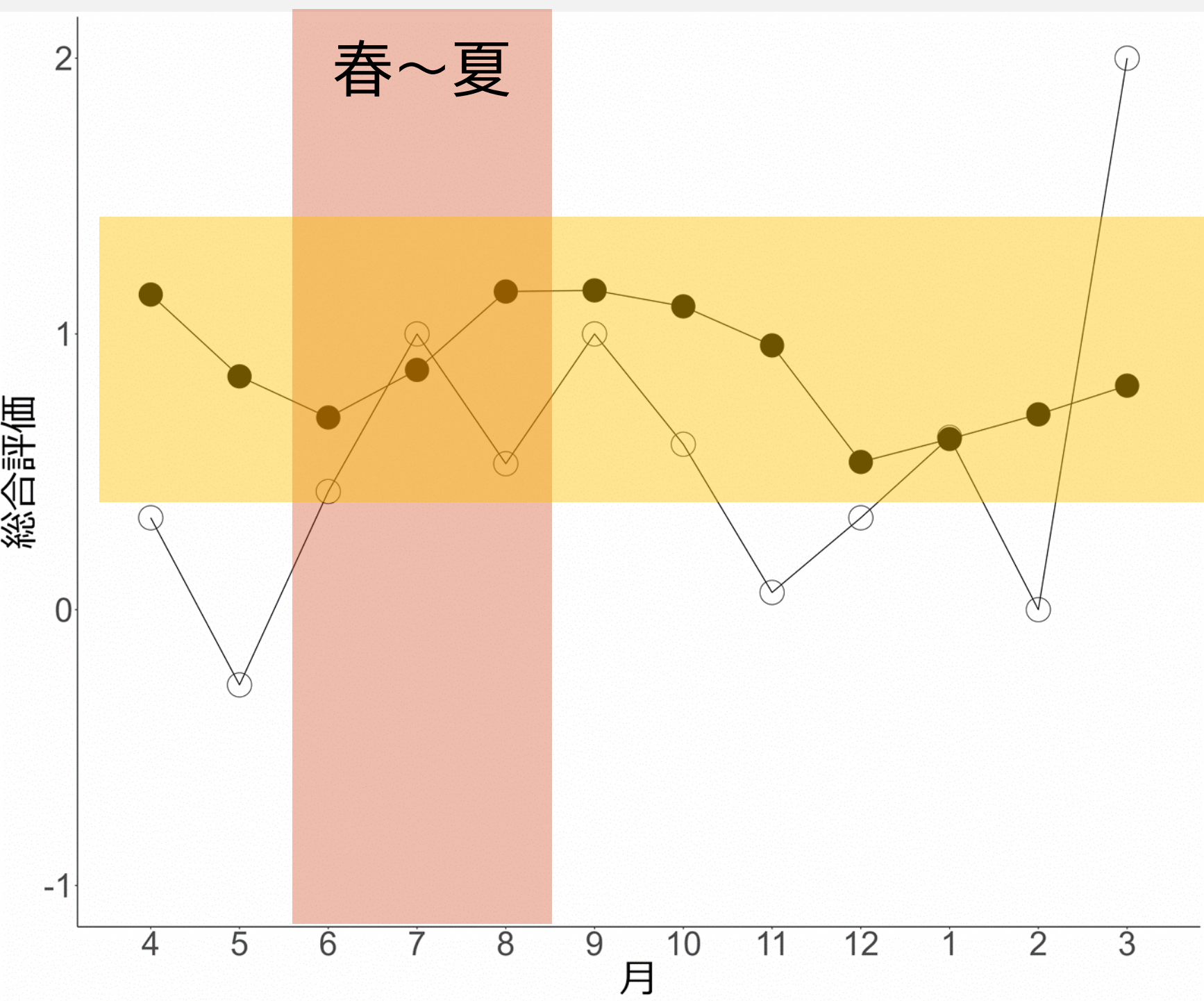
京都府農林水産技術センター

問い合わせ先:海洋センター 0772-25-3031

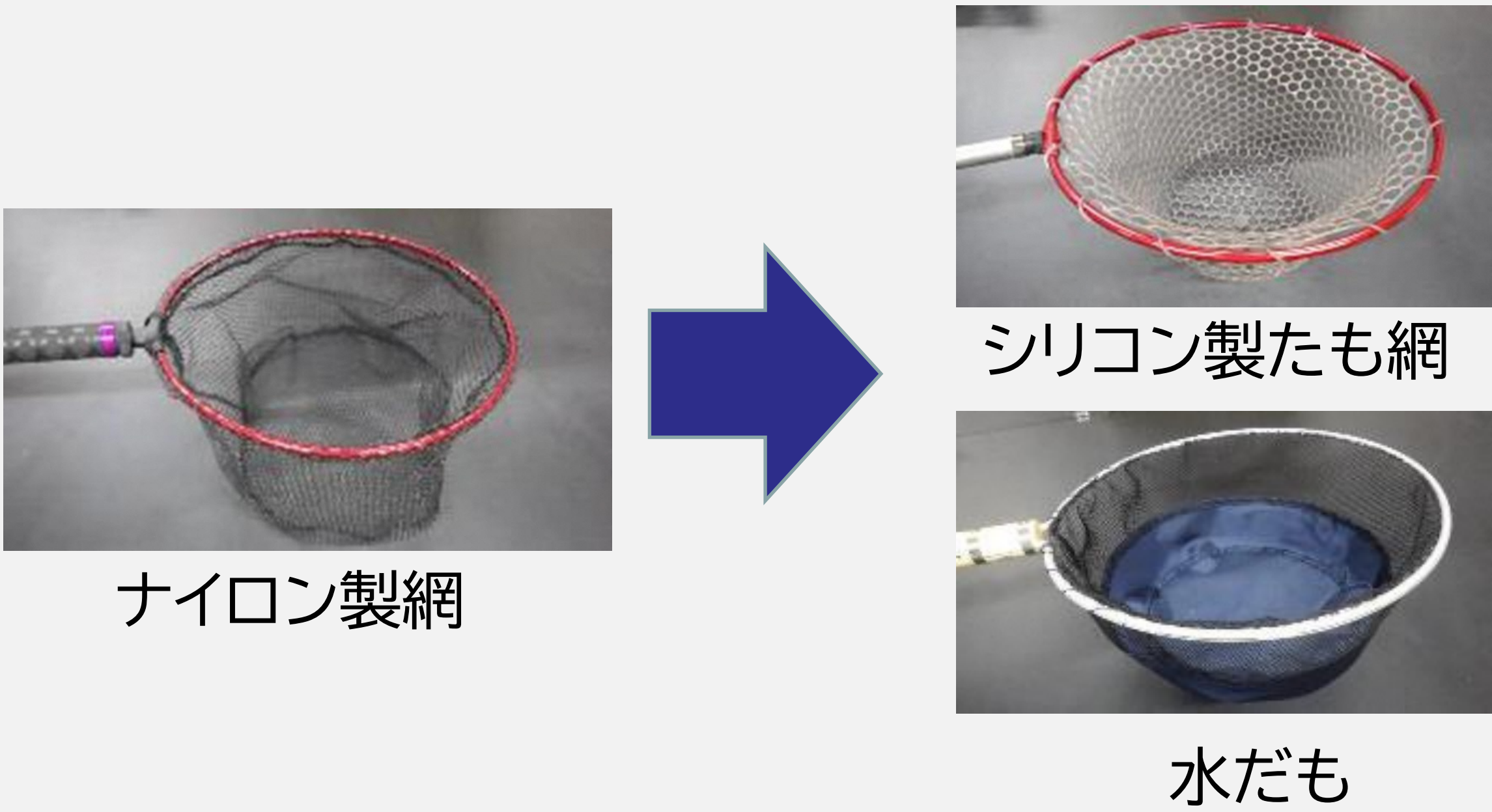
- 主な成果
- 高品質なマアジの基準を作成しました
 - 定置網で漁獲されるマアジの移送技術および品質を高める蓄養・養殖技術を確立しました

成果の内容

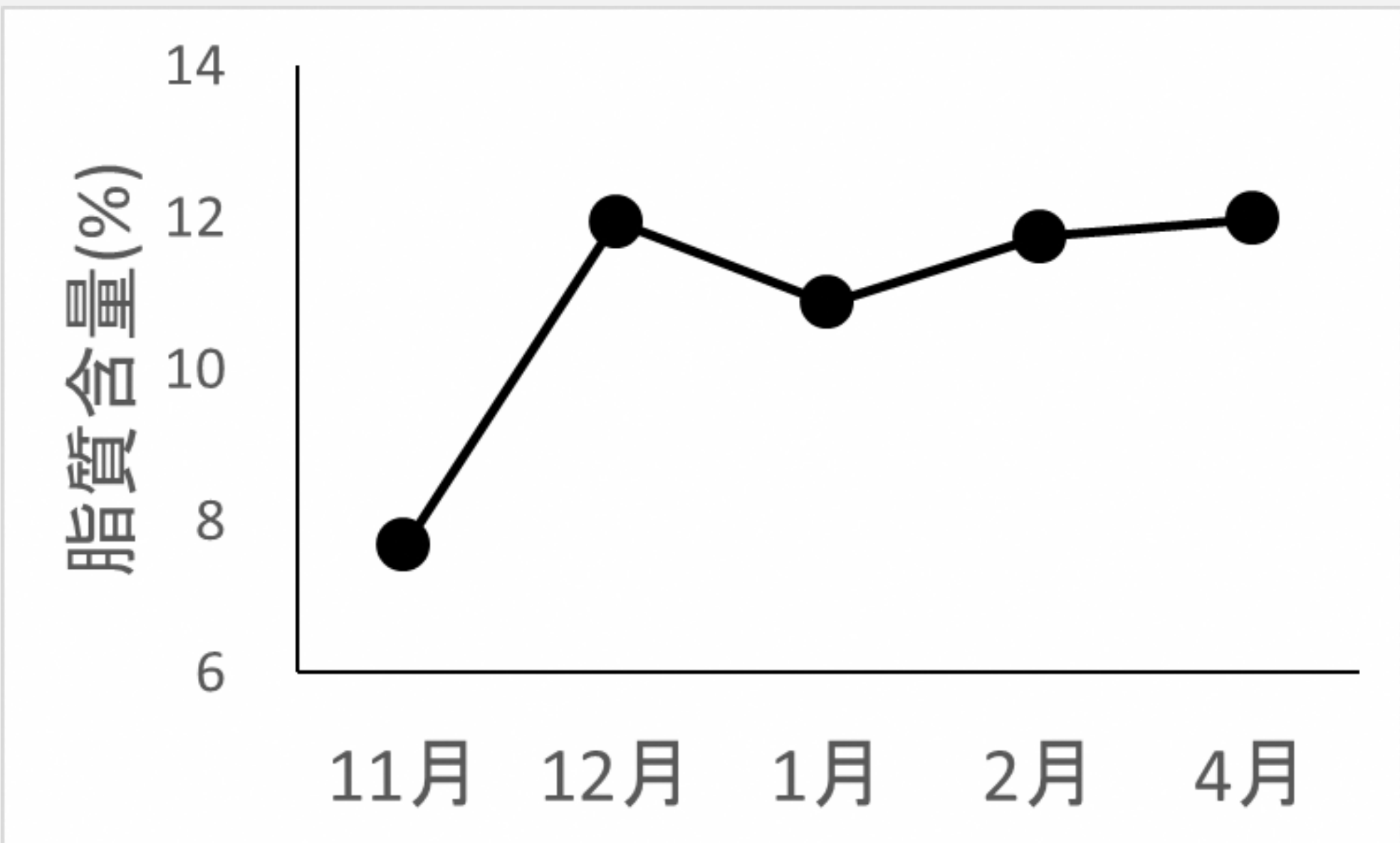
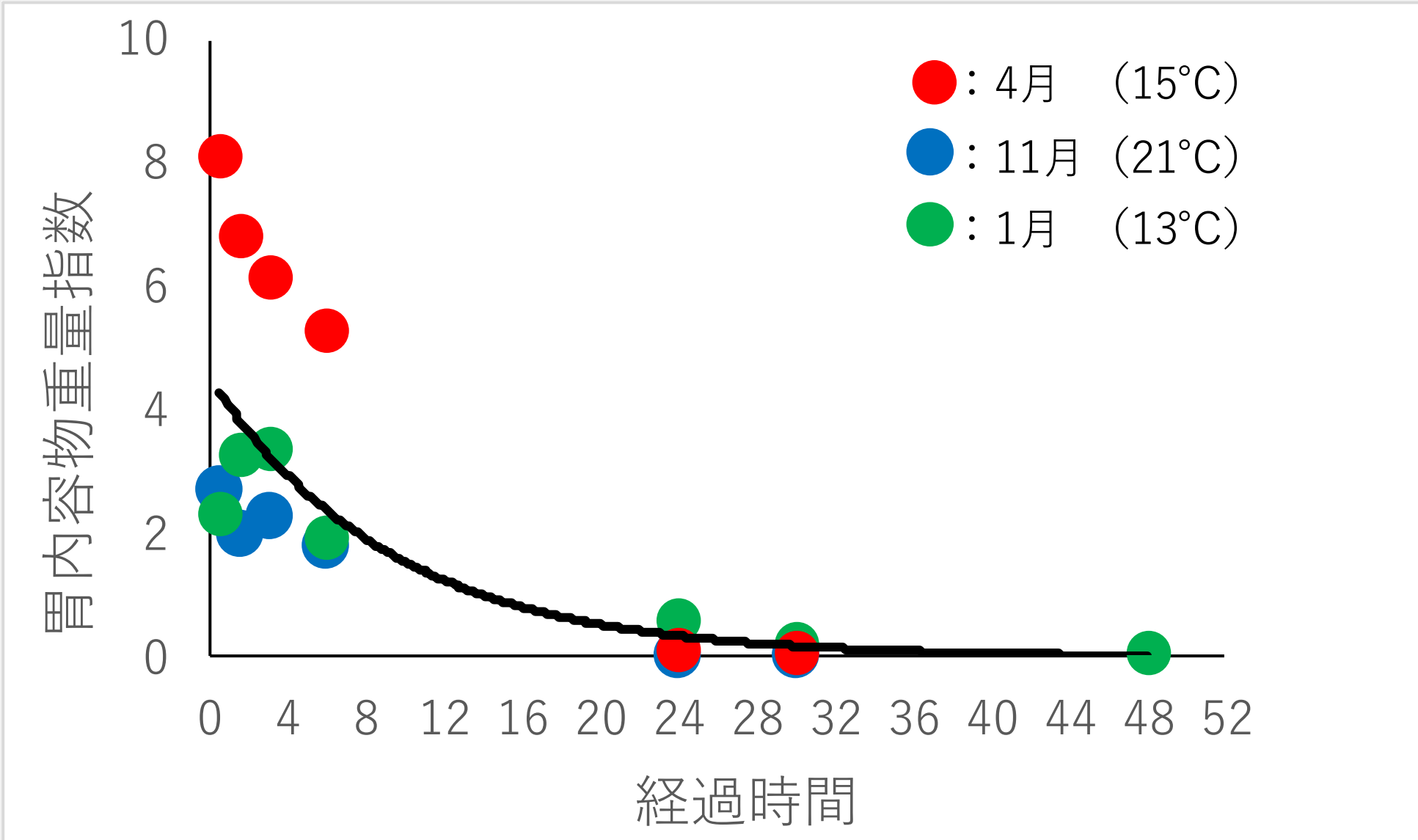
- 高品質マアジは、脂質含量が高いもの又は春から夏のものであり、後者は特に「金あじ」と定義しました。
- シリコン製たも網や水だもを用いることで、移送の際の斃死率を13%から1%に低減できました。



種類	斃死率(%)
ナイロン製	13%
水だも・シリコン製	1%



- 24時間の無給餌蓄養により、夏場に品質劣化の原因となる胃内容物を完全に排出させられることがわかりました。
- 養殖試験により脂質含量を7%から12%に向上・維持できることがわかり、脂が少ないものも高品質化し、通年出荷することが可能となりました。



期待される波及効果

- 短期蓄養や養殖技術の活用により京都府産マアジの魚価向上
- 高品質マアジのPRにより京都産水産物の認知度向上・府北部への来客数増